

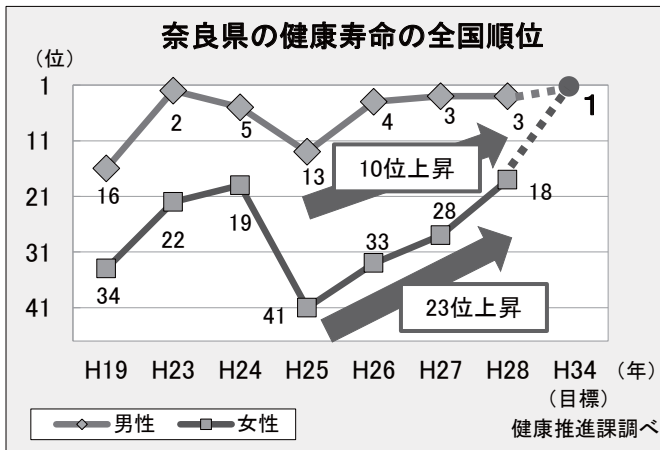
1 健康づくりの推進

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。

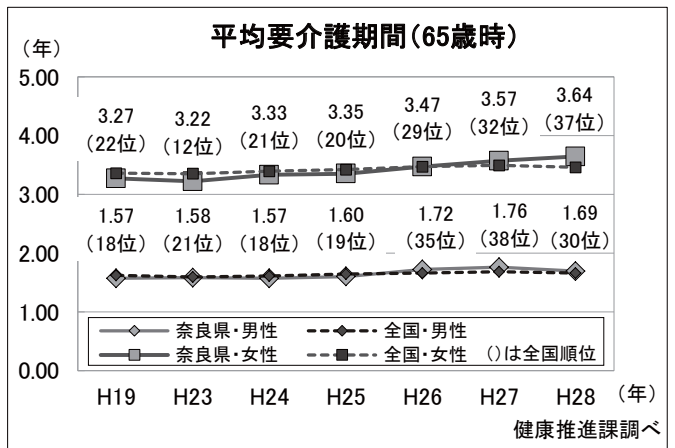
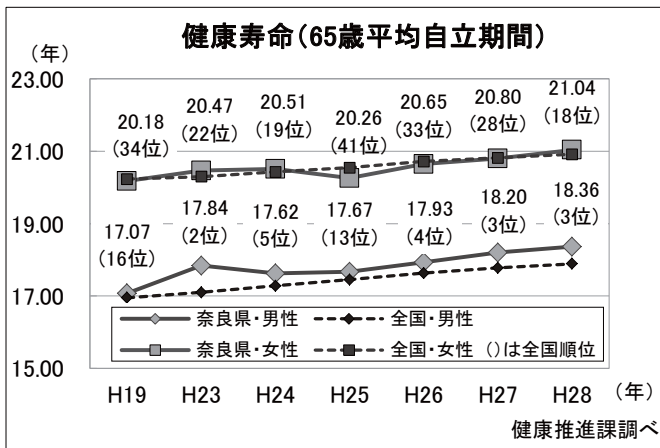
主担当部局(長)名
医療政策局長 林 修一郎

1. 政策目標達成に向けた進捗状況



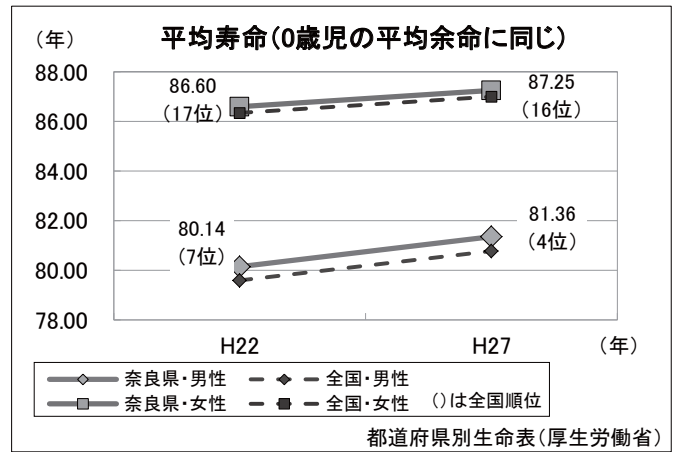
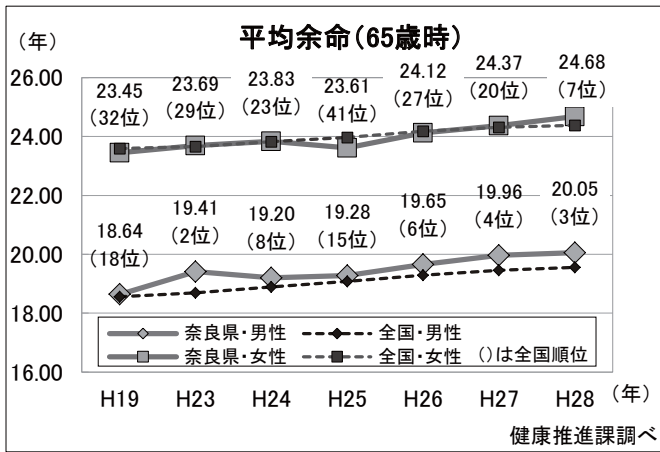
目標	平成34年度までに、県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。(H25年男性:13位、女性:41位)
成果	平成28年の健康寿命の順位は、男性3位、女性18位で、平成27年と比べて女性の順位が10位上昇しました。

2. 現状分析



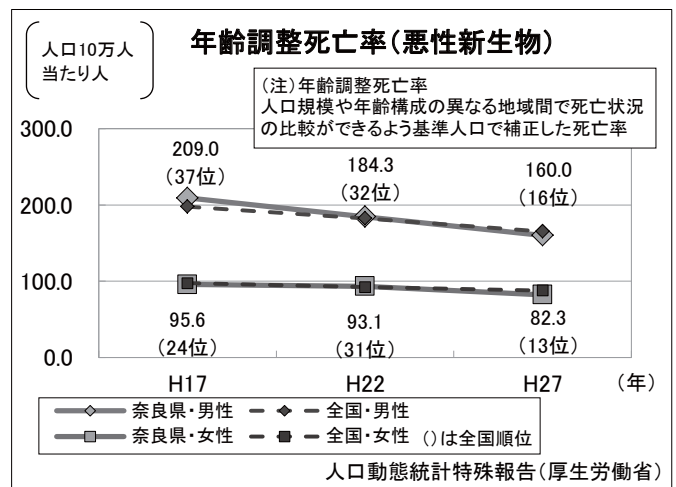
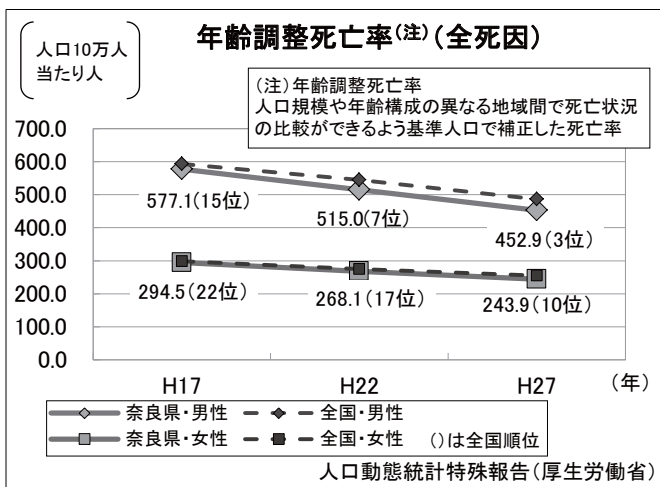
平成28年の奈良県の健康寿命(65歳平均自立期間)は、男性が18.36年、女性が21.04年となっています。全国平均と比較すると、男性は長く、女性は同程度です。(→戦略1,2,3)

平成28年の奈良県の平均要介護期間(65歳時)は、男性が1.69年、女性が3.64年となっています。全国平均と比較すると、女性は長く、男性は同程度です。(→戦略2)



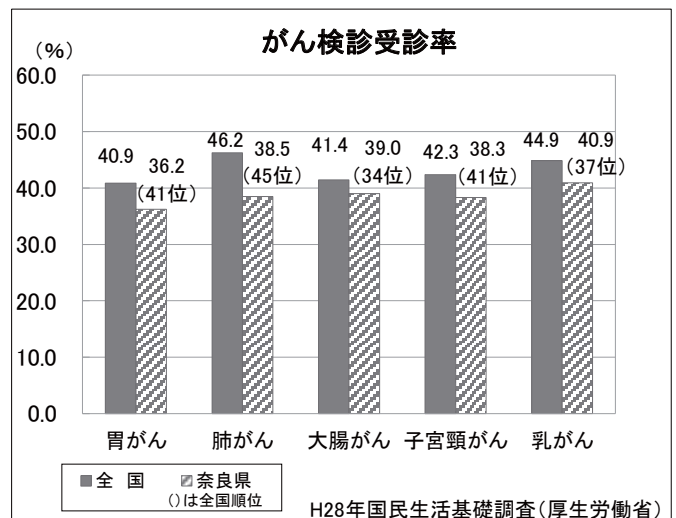
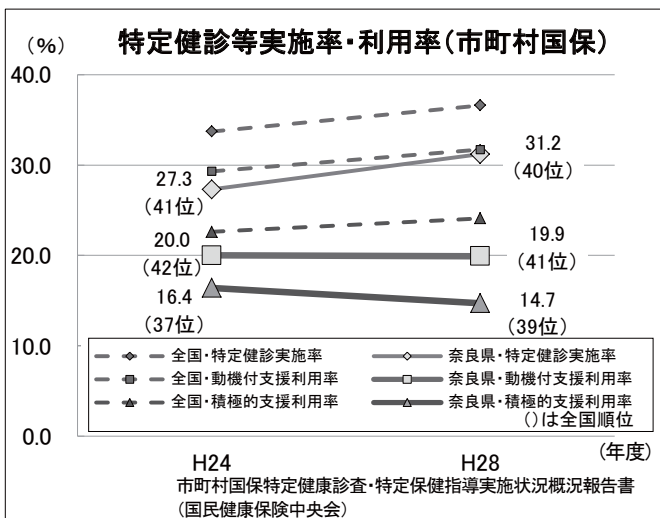
平成28年の奈良県の平均余命(65歳時)は、男性が20.05年、女性が24.68年となっています。全国平均と比較すると、男女とも長くなっています。(→戦略1,3)

平成27年の平均寿命は、男女とも全国平均以上です。(→戦略1,3)



年齢調整死亡率(全死因)は、男女とも平成17年より平成27年にかけて低減しました。平成27年の男性の全国順位は3位と上位です。(→戦略1,3)

年齢調整死亡率(悪性新生物)は、男女とも平成17年より平成27年にかけて低減しました。平成27年に男性は全国平均を下回りました。(→戦略3)



平成28年度の市町村国保の特定健診実施率、動機付支援利用率、積極的支援利用率は、いずれも全国平均を下まわり、低調です。(→戦略2)

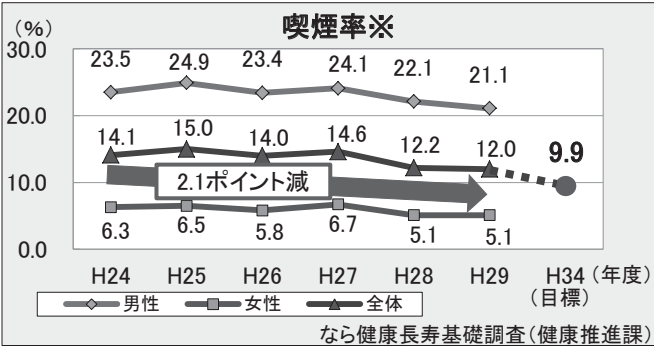
平成28年の各種がん検診の受診率は、いずれも全国平均を下まわり、低調です。(→戦略3)

3. 戦略目標達成に向けた進捗状況

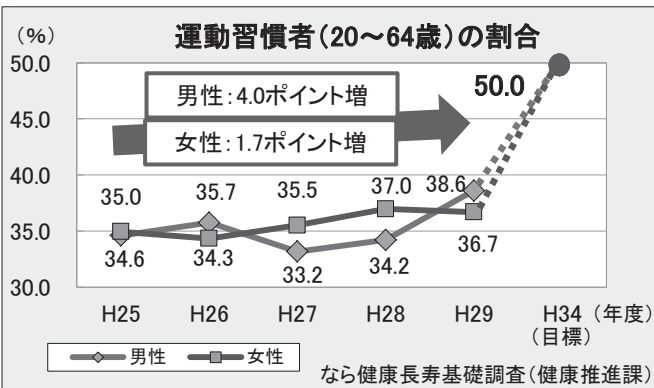
戦略1 健康寿命日本一を達成するため、健康的な生活習慣の普及を進めます。

主担当課(長)名 健康推進課長 辻本 智宏

戦略目標	①平成34年度までに、成人県民の喫煙率を9.9%に減少させます。(H23年:14.2%) ②平成34年度までに、食塩摂取量を8gに減少させ、野菜摂取量を350gに増加させます。(H23年:男性11.6g、女性10.1g(食塩) 295g(野菜)) ③平成34年度までに、運動習慣者の割合を50%以上にします。(H23年度:35%)
------	---



目標	平成34年度までに、成人県民の喫煙率を9.9%に減少させます。(H23年:14.2%)
成果	たばこの害や禁煙に関する情報提供、禁煙支援体制の整備等の取組を行ったことにより、平成29年度の成人県民の喫煙率は12.0%(男性21.1%、女性5.1%)と、前年度と同程度となっています。



目標	平成34年度までに、運動習慣者の割合を50%以上にします。(H23年度:35%)
成果	平成30年3月末までの県営健康ステーションの延べ来場者数は、162,657人(橿原)、60,065人(王寺)、活動量計2週間体験者数は、2,476人(橿原)、1,739人(王寺)となっており、県営健康ステーションの運営を通して、運動習慣の啓発に努めたこと等により、平成29年度の運動習慣者の割合は、男性が前年度より4.4ポイント(34.2%→38.6%)上昇しました。

主な取組指標等

減塩対策・野菜摂取の推進(②)		
食育推進計画策定市町村数 [累計]		
18市町村 (H24年度)	▲ 17市町村	35市町村 (H29年度)

減塩対策・野菜摂取の推進(②)		
野菜摂取量(男性)		
267.2g (H24年)	▲ 4.5%	279.1g (H28年)

減塩対策・野菜摂取の推進(②)		
野菜摂取量(女性)		
242.2g (H24年)	▲ 8.8%	263.5g (H28年)

運動普及の推進(③)		
健康ステーション設置数 [累計]		
1カ所 (H25年度)	▲ 4カ所	5カ所 (H29年度)

健康寿命の延長に関する健康指標の市町村別把握及び評価の実施(①,②,③)		
なら健康長寿基礎調査有効回答数		
6,461件 (H24年度)	▼ 17.1%	5,357件 (H29年度)

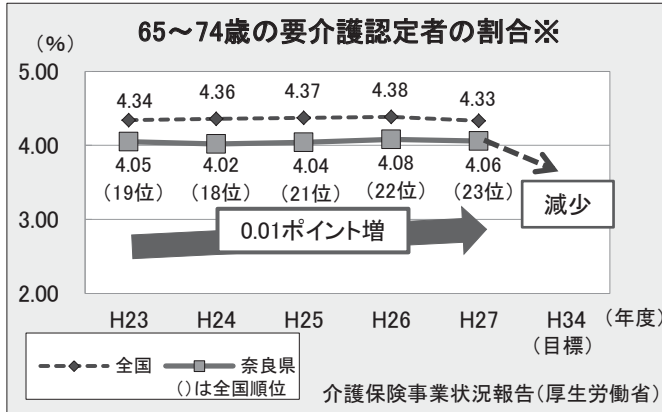
数値で表せない成果

生活習慣病予防、健康増進の視点から、県民が健康的な食生活を習得し、実践できるようにするため第3期奈良県食育推進計画を策定しました。(平成30年3月)(②)

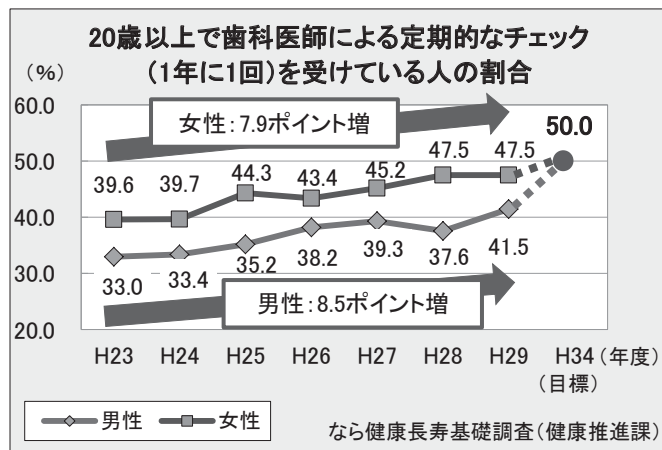
戦略2 特定健診受診や介護予防等に取り組む人を増やし、要介護状態になる人を減らします。

主担当課(長)名 医療保険課長 藤井 純一

戦略目標	<p>①平成29年度までに、特定健診受診率(国保)及び特定保健指導利用率(国保)を60%以上にします。(H23年度(国保)健診:25.1% 保健指導:14.2%)</p> <p>②平成34年度までに、65歳から74歳の要介護認定者の割合を減少させます。(H23年9月末:4.11%)</p> <p>③平成34年度までに、20歳以上で歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合を男女とも50%以上にします。(H23年度:男性33.0%、女性39.6%)</p>
------	--



目標	平成34年度までに、65歳から74歳の要介護認定者の割合を減少させます。(H23年9月末:4.11%)
成果	平成27年度の65歳から74歳の要介護認定者の割合は4.06%と、前年度と同程度の割合を維持しました。



目標	平成34年度までに、20歳以上で歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合を男女とも50%以上にします。(H23年度:男性33.0%、女性39.6%)
成果	平成29年度の20歳以上で歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合は、男性は前年度と比べて3.9ポイント(37.6%→41.5%)上昇しました。また、女性は前年度の水準(47.5%)を維持しました。

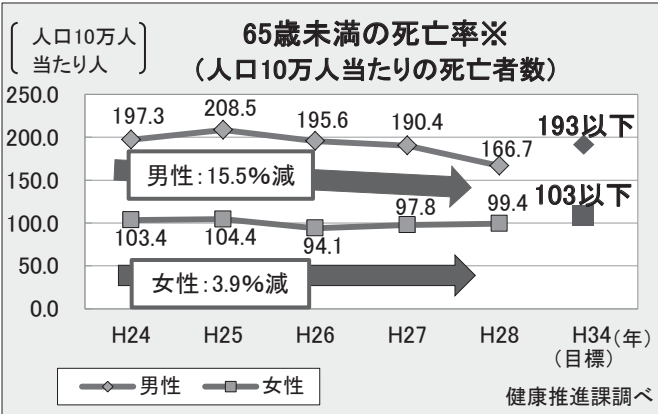
主な取組指標等

特定健診受診及び特定保健指導利用の推進(①) 特定健診実施率 [市町村国保]	特定健診受診及び特定保健指導利用の推進(①) 特定保健指導実施率 [市町村国保]	県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進(②,③) 地域巡回指導・普及啓発事業の実施回数
25.1% (H23年度) → 31.2% (H28年度) 6.1ポイント	14.2% (H23年度) → 17.3% (H28年度) 3.1ポイント	59回 (H24年度) → 194回 (H29年度) 3.3倍

数値で表せない成果

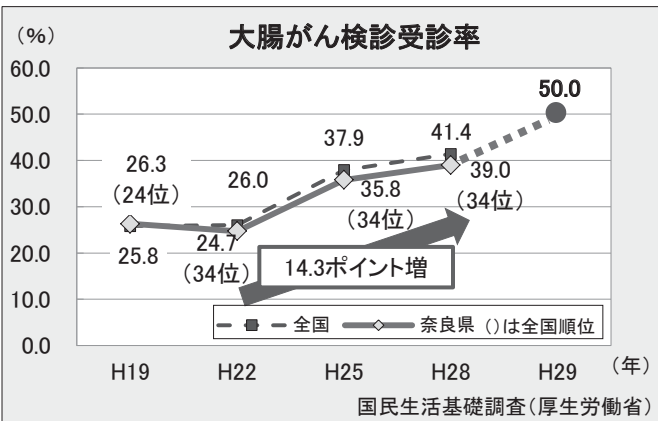
歯科口腔保健の推進により一層取り組むとともに、推進体制の充実を図るため、「なら歯と口腔の健康づくり計画」の見直しを行いました。(平成30年3月)(③)

戦略目標	①平成34年度までに、65歳未満の死亡率を男性193人、女性103人(人口10万人当たり人)以下に減らします。(H23年:男性215人、女性115人(人口10万人当たり人)) ②平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(H22年度:胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%)
------	---



※は数値の低い方が良くなる指標

目標	平成34年度までに、65歳未満の死亡率を男性193人、女性103人(人口10万人当たり人)以下に減らします。(H23年:男性215人、女性115人(人口10万人当たり人))
成果	平成28年の65歳未満の死亡率は、男性が166.7人、女性が99.4人と、男女とも目標(H34年度:男性193人、女性103人)を達成しました。



目標	平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(H22年度:胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%)
成果	平成28年の大腸がん検診受診率は39.0%で、平成22年の受診率と比較して14.3ポイント(24.7%→39.0%)上昇しました。

主な取組指標等

自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成(①)		
自殺予防に係る人材養成研修受講者数		
75人 (H25年度)	➡ 2.8倍	211人 (H29年度)

行政、保険者、企業等の連携によるがん検診の推進(②)		
「がん検診を受けよう!」奈良県民会議登録会員数		
114 団体・個人 (H24年度)	➡ 9.6%	125 団体・個人 (H29年度)

行政、保険者、企業等の連携によるがん検診の推進(②)		
受診勧奨・再勧奨に取り組む市町村数		
2市町村 (H23年度)	➡ 11.0倍	22市町村 (H29年度)

4. 平成31年度に向けた課題の明確化

＜政策目標達成に向けた主な進捗状況＞

平成28年の健康寿命の順位は、男性3位、女性18位で、平成27年と比べて女性の順位が10位上昇しました。

＜戦略目標達成に向けた主な進捗状況＞

平成28年の大腸がん検診受診率は39.0%で、平成22年の受診率と比較して14.3ポイント(24.7%→39.0%)上昇しました。

＜奈良県の持っている強み＞

- 1 平成28年における喫煙率は、全体17.1%(全国1位)、男性27.6%(全国2位)、女性7.4%(全国16位)
- 2 橿原と王寺に設置した健康ステーションの1日平均入場者数が、それぞれ100人、70人と好調(H29年度)
- 3 平成28年の人口10万人当たりの自殺死者数は13.6人で、低い方から全国1位と上位
- 4 定期的に歯科検診を受診している人の割合が増加傾向(男性33.0%、女性39.6%(H23年度)→男性41.5%、女性47.5%(H29年度))

＜奈良県の抱えている弱み＞

- 5 市町村の実施するがん検診の受診率は、肺がん全国47位、子宮頸がん43位、胃がん42位等(H28年度)下位
- 6 平成28年における食塩摂取量は男性が10.6g、女性が9.2gで目標の8gより多く摂取
- 7 平成28年における野菜摂取量は、男性が279.1gで多い方から全国30位、女性が263.5gで全国26位と少ない
- 8 市町村国保の実施する特定健診受診率は、全国40位(H28年度)と下位
- 9 全国より高い高齢化率が継続(本県30.3%、全国27.7%(H29年))

＜奈良県への追い風＞

- a 2020年東京オリンピックの影響もあり、駅や病院等の公共的な空間での全面禁煙や飲食店等での分煙が進展
- b ウォーキングやマラソン等健康づくりが全国的にブーム
- c 計測した数値を記録及び転送できる活動量計等の普及が進展
- d 「タニタ食堂」等、減塩低カロリー健康食への関心の高まり
- e NDB(レシピ情報・特定健診等情報データベース)、KDB(国保データベース)等、医療及び健診データベースの整備が進展

＜奈良県への向かい風＞

- f 自殺者数は減少傾向にあるものの、全国で年間23,000人を超える高水準
- g 肺炎死亡が増加しており、死因別統計で平成23年に脳血管疾患を抜いて、がん、心臓病に次ぐ第3位
- h 高齢化が進展しており、平成47(2035)年に3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測
- i 高齢化の進展に伴い要介護者数が増加
- j 少子化及び高齢化の進展に伴い医療、介護を支える人材が不足
- k 高齢化の進展に伴い認知症患者数が増加

＜強みで追い風を活かす課題＞

- 〔重要課題〕たばこ対策の推進(1,a)
- 〔重要課題〕運動の推進(2,b,c)

＜弱みを踏まえ追い風を活かす課題＞

- 〔重要課題〕がん検診の推進(5,e)
- 〔重要課題〕減塩・野菜摂取(食育)の推進(6,7,d)
- ・特定健診の推進(8,e)

＜強みで向かい風を克服する課題＞

- 〔重要課題〕自殺対策の推進(3,f)
- ・歯科口腔保健の推進(4,g,i)

＜弱みを踏まえ向かい風に備える課題＞

- ・高齢者の健康づくりの推進(9,h,i)
- ・地域包括ケアの推進(9,i,j)
- ・認知症対策の推進(9,k)

5. 平成28年度の評価を踏まえ、平成30年度に向けて見直した課題、取組

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
特定健診の推進(戦略2)	国民健康保険法が改正され、平成30年度から県と市町村がともに国保運営を担うこととなったことから、県と国民健康保険団体連合会が連携して特定健康診査の実施率向上、特定保健指導の支援、糖尿病性腎症重症化予防等の取組を推進するために、平成30年4月に奈良県国民健康保険団体連合会内に国保事務支援センターを新たに設置しました。

6. 重要課題についての今後の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
たばこ対策の推進(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村以外の保険者、医療機関等を対象として、禁煙支援リーフレットのさらなる活用を図ります。 ・女性のための禁煙スタートアップ講習会を開催します。 ・禁煙支援協力薬局の登録を行います。 ・事業所等へ受動喫煙防止対策に関する情報の周知を行います。
運動の推進(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ステーションの運営及び出張型健康ステーションの実施により、「おでかけ健康法」の普及拡大を図ります。 ・アドバイザー派遣、運営経費の補助により、市町村における健康ステーション設置促進のための支援を行います。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
がん検診の推進(戦略3)	<ul style="list-style-type: none"> ・「がん検診を受けよう！」奈良県民会議を開催します。 ・全市町村で個別受診勧奨・未受診者再勧奨に取り組めるよう、技術的支援を実施します。
減塩・野菜摂取(食育)の推進(戦略1)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内事業所における昼食(食堂・弁当)メニューの減塩化を推進します。 ・県内スーパーマーケット等、中食の減塩化に向けた研究を行います。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
自殺対策の推進(戦略3)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年3月に策定した奈良県自殺対策計画に基づき、若年層や自殺未遂者への支援、健康問題や様々な問題に起因する自殺への対策を進めます。 ・自殺対策支援センターにおいて、市町村に対し、自殺対策計画の策定や自殺対策事業実施における専門的助言、情報提供等を行います。

